

「災害時、地域や施設はどう動く？」 2017年1月28日

住吉区主催の「災害時、地域や施設はどう動く？」というイベントに府立DMATが参加してきました！

まず、松田医師が熊本県での医療救護の経験について講演を行いました。地域の方々にDMAT活動の実際を知っていただく大変よい機会になりました。熊本県庁での体験は、区役所の職員さんの大きな興味をひいたようでした。

次に、各団体がさまざまなブースを設置する体験コーナーに移りました。

我々は、「トリアージ体験」と「避難所運営ゲーム」を催しました。

トリアージ体験コーナーでは、実際のトリアージタグを使い、START法の練習とタグの記載を体験してもらいました。

トリアージのことをご存じの方が多く、大変熱心に参加して頂き、大いに盛り上がりました！

HUG(hinanzyo unei game)ブースでは避難所を設置する時に気を付けるべきポイント、災害弱者への配慮について考えていただきました。

参加者は町内会の会長さんなど、災害時に実際に避難所の設営に関わる方も多く、有意義なシミュレーションにだったと仰っていただきました。また、DMATカーの展示や、3SPidersの展示にも、たくさんの方にお越しいただきました。

府立DMATは、これからも地域と共同し、地域に役立つ組織を目指して活動していきたいと思えます！



西成区 大規模火災にDMAT出動 2017年1月26日

既に大きく報道でも取り上げられているように、西成区で大規模な火災がありました。被災された方々に心よりお悔みとお見舞いを申し上げます。大阪市消防から大阪府立急性期・総合医療センターに医師派遣要請をいただき、医療が現場に介入することで被災者の力になることを目指し、出動いたしました。

木下医師、竹本看護師、西業務調整員、天野業務調整員の4名が現地指揮所に入り、レスキュー、消火隊、救急隊と協力して情報収集を行いました。

その中で現場の医療ニーズを想定し、2隊の大阪DMAT派遣を要請、大阪市立大学DMAT、中河内救命センターDMATと共に活動しました。

出動要請から12分で出発できたこと、救急隊と非常に緊密な連携が取れた活動ができたことは、普段の訓練の成果が発揮できたのではと思います。

一方、初期の混乱の中で、情報を取捨選択し正しい判断をすることの困難さを改めて実感しました。

これからも府立DMATは、起こり得る災害に備え、減災に役立てるよう努力いたします。

最後になりましたが、被災者の方々が一日も早く平穏な生活に戻られることをお祈りします。

